

石川県ナースセンターにおける 届出・復職支援について



公益社団法人
石川県看護協会
ナースセンター
高城 厚子

H31.1.31

- 1. 石川県の現状（届出）**
- 2. 石川県の取り組み状況**
- 3. 今後の課題**

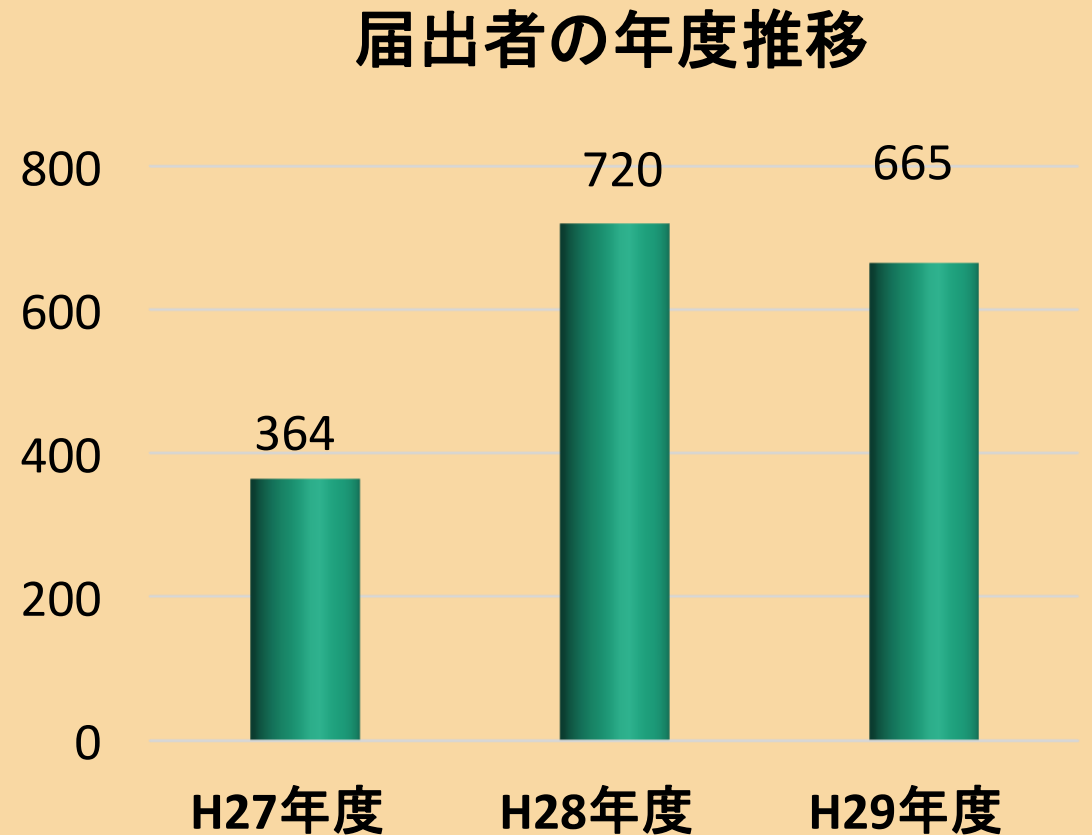
1. 石川県の現状

- 1) 届出者の年度推移
- 2) 届出者の年代別比較
- 3) 届出者の登録手段
- 4) 届出者の就業状況
- 5) 届出者のうちeナースセンター登録・就職状況



1)届出者の年度推移 (H27.10.1～H30.3.31)

年度 \ 項目	届出数	累積
H27年度	364	364
H28年度	720	1084
H29年度	665	1749

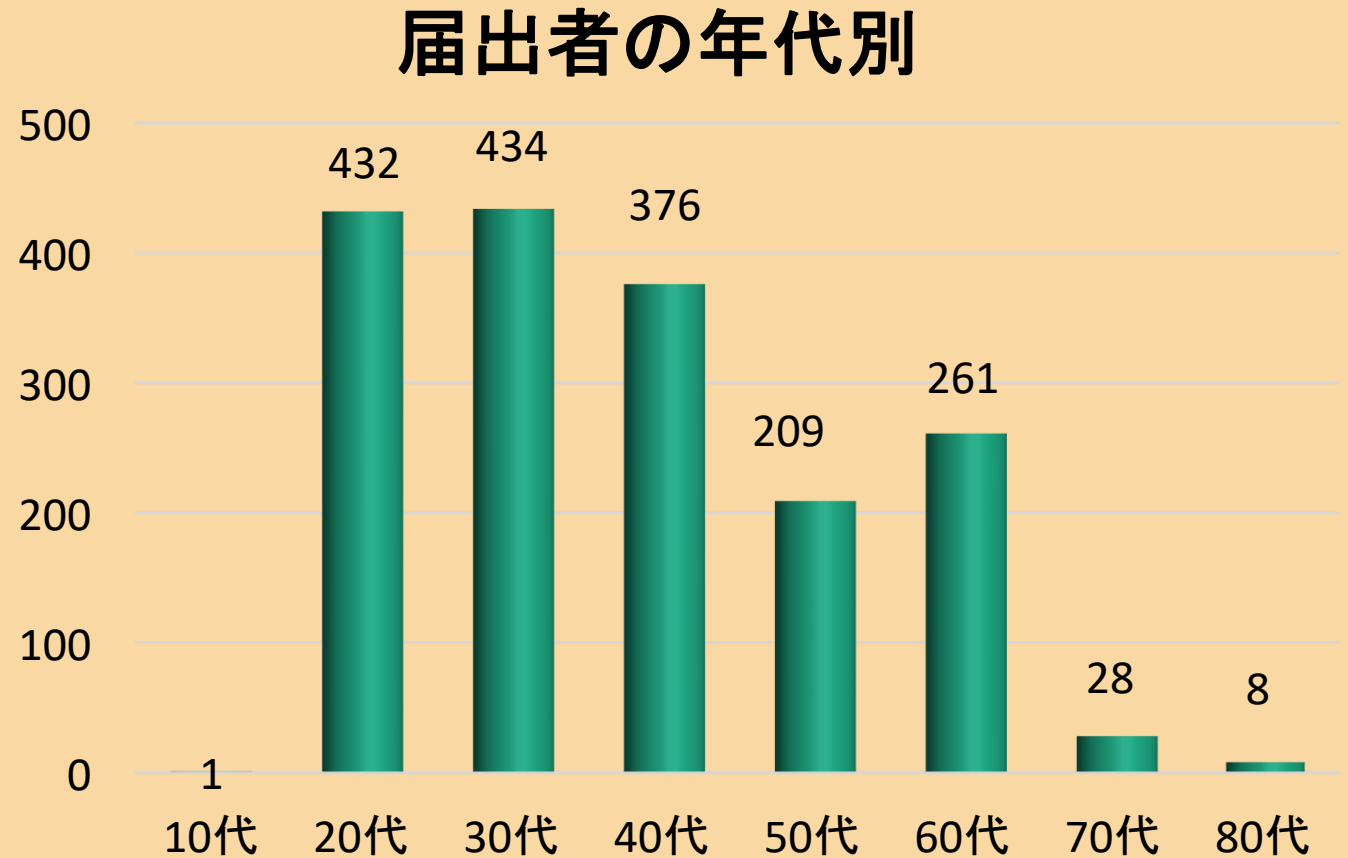


※平成27年度はH27.10.1～H28.3.31の期間

※中央ナースセンター看護師等の届け出制度データより 4

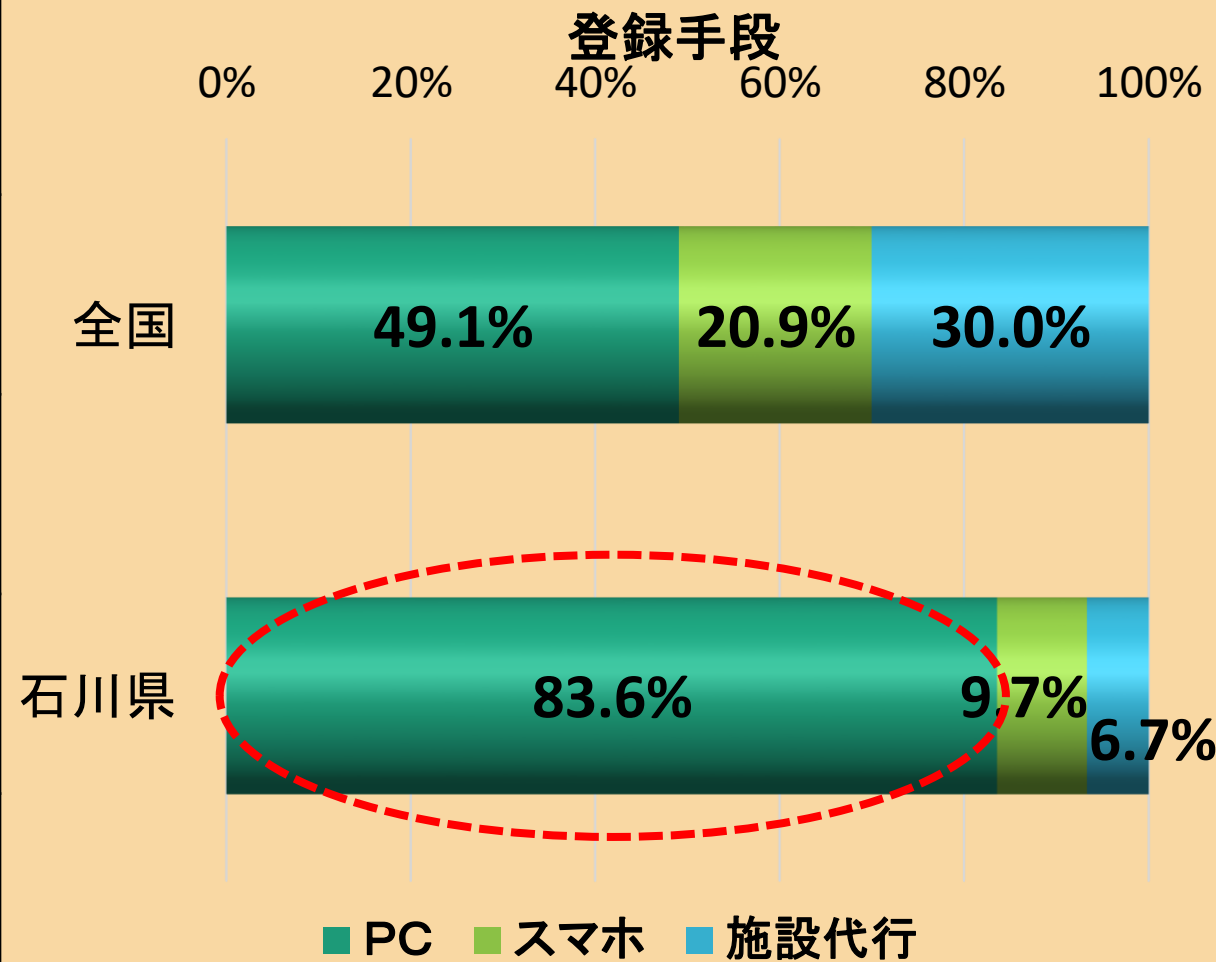
2)届出者の年代別比較 (H27.10.1～H30.3.31)

年代	合計
10代	1
20代	432
30代	434
40代	376
50代	209
60代	261
70代	28
80代	8
90代	0
未記入	0
合計	1749



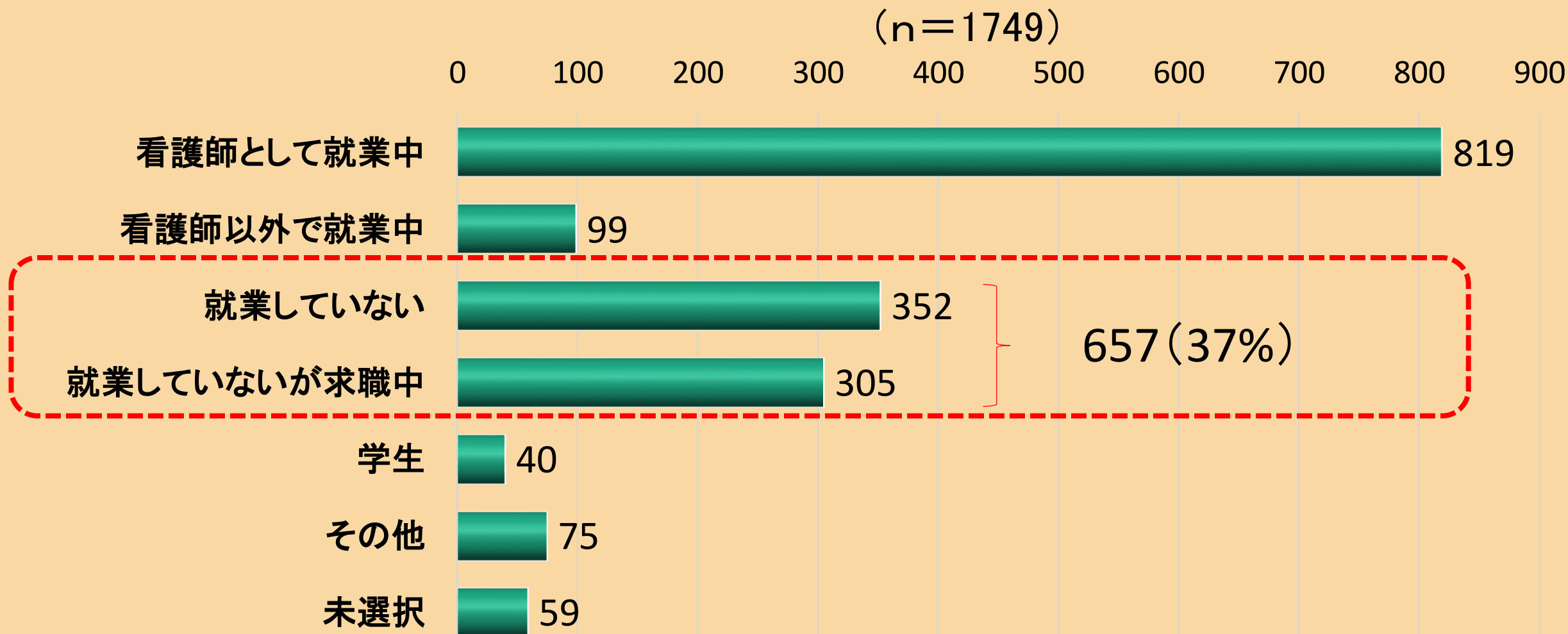
3)届出者の登録手段(H27.10.1~H30.3.31)

登録手段	全国	全国	石川県	石川県
パソコン (PC)	33,654	49.1%	1,462	83.6%
スマホ	14,331	20.9%	170	9.7%
施設代行	20,595	30.0%	117	6.7%
計	68,580	100.0%	1,749	100.0%



※中央ナースセンター看護師等の届け出制度データより⁶

4) 届出者の就業状況 (H27.10.1～H30.3.31)



※中央ナースセンター看護師等の届け出制度データより

5) 届出者のうちeナースセンター登録・就職

- 届出からeナースセンターの登録を希望した人は、全国、石川ともに40%程度
- 届出者のうち、eナースセンターに登録し就職した人は、全国8.5%に対し石川県は17.4%

(H27年10月1日～H30年3月31日)

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全国		石川県	
	総計	割合	総計	割合
届出数	68,580		1,749	
うちeナースセンター登録者数	27,881	40.7%	787	45.0%
うち就職者数	5,844	8.5%	305	<u>17.4%</u>

※中央ナースセンター看護師等の届け出制度データより

2. 石川県の取り組み状況

- 1) 届出制度の先行実施
- 2) 県行政による支援(財政、広報支援)
- 3) 全国届出制度開始後の取り組み状況
- 4) ハローワークとの連携
- 5) ナースセンター運営委員会・関係団体との連携協力
- 6) ナースセンターの広報
- 7) 成果につながった要因

1)届出制度の先行実施

- ・届出制度を医療機関側に早めに周知を実施し登録制度を定着



H27年4月～H27年9月の半年間前倒しで先行実施

(届出数:478)

H27年2月に届出制度の協力依頼送付(県・協会との連名)

※石川県内約1800施設、紙媒体による提出

(看護師業務従事者届けを活用)

2) 県行政による支援(1)

●財政支援(事業費・人件費の増)

平成26年までは1.5人(常勤換算)

平成27年度から3.0人(常勤換算)に増員

※事業費増となった理由

27年4月～届出制度の先行実施及び制度開始

27年4月～第5次NCCS導入

27年8月～県下全9か所ハローワーク就業相談開始

2) 県行政による支援(2)

● 広報支援

- ・ 全国届出制度開始にかかる広報

県内看護職業業務従事者届出1800施設へ県・協会の連名で
公文書送付

- ・ 新聞掲載による広報
- ・ ハローワークとの連携による就業相談開始の情報発信
- ・ 県内コンビニやショッピングモールにチラシを設置
- ・ 市役所、図書館、保健センターなどにチラシを配布
- ・ 県直営のLine@や、ホームページに掲載 など

先行届出の実績について H27.7.11 北国新聞

（3） 2015年（平成27年）7月11日（土曜日） 北

退職看護師400人届け出

県と県看護協会が共同で実施している「看護師の届出制度」について、5月末までに400人が利用したことが10日、県と協会への取材で分かった。県内では、看護師が年間500人ほど退職しているという。関係者は「届け出しは増加している。また、制廃前からの看護師として働いていない人にも登録を呼び掛ける手段が必要だ」と指摘している。

県協会の「再就職へ求人紹介」

看護師として働き始める際に、県内での就職や求人情報を伝える「再就職支援センター」がある。県内では、看護師が退職した後も、県内での就職や求人情報を伝える「再就職支援センター」がある。県内では、看護師が退職した後も、県内での就職や求人情報を伝える「再就職支援センター」がある。

県から436人の求人が寄せられており、県看護協会の求人紹介サービスを通じて、県内での就職や求人情報を伝える「再就職支援センター」がある。

ナースセンターの復職支援について H28.1.30 北国新聞

北 国 新 聞 2016年（平成28年）1月30日（土曜日）

看護師の復職あっせん 求職登録最多 ナースバンク

119人が復職

県看護協会によると、ナースバンクの登録者は2015年度が268人、119人が復職した。県看護協会は、看護師の復職支援を加速するため、ナースバンクの登録者を増やすとともに、県内での就職や求人情報を伝える「再就職支援センター」がある。

4～12月で436人 県、支援を加速

県看護協会によると、県内では看護師が結婚や育児などで年間500人ほど退職しているという。関係者は「届け出しは増加している。また、制廃前からの看護師として働いていない人にも登録を呼び掛ける手段が必要だ」と指摘している。

3) 全国届出制度開始後の取り組み状況(1)

①届出者への支援

- ・求人情報提供・見学面接の調整
- ・再就業支援セミナー(H30年11回170人利用)
- ・県の再就業体験研修
- ・メール・電話・郵送による連絡

②チラシ設置

ショッピングモール、図書館、市役所など

3) 全国届出制度開始後の取り組み状況(2)

①施設への支援

届出未登録施設の把握(病院)

- ・県の調査(県内94病院の配置状況を調査し退職者を把握)とナースセンターの離職時届出のデータを突合し、離職時届出が提出されていない病院に対し電話や訪問により届出を促す。

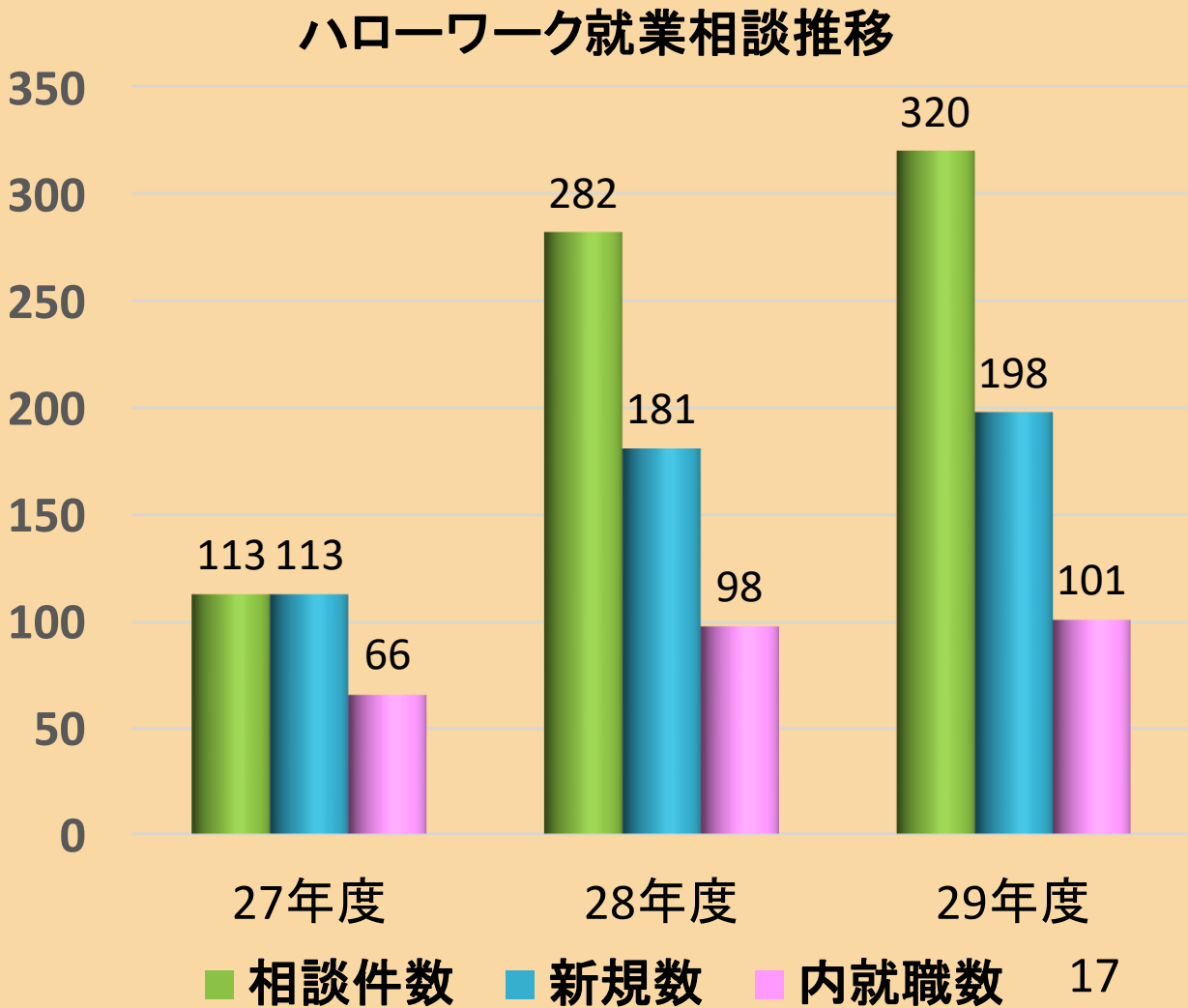
②毎年年度末に県との連名による、離職届の周知依頼

4) ハローワークとの連携(1)

- H25年8月……ハローワーク(金沢)での就業相談開始
- H27年4月……ハローワーク主催介護看護面接会参加
 - ※年間6～7回(1～3カ所)
- H27年8月……県下全9ヶ所で就業相談開始
 - ※月2回……1ヶ所(金沢)
 - ※月1回……3ヶ所
 - ※隔月……5ヶ所
 - 年間96回

4) ハローワークとの連携(2)

項目 年度	延べ相 談件数	新規数	内就 職数	就職率
27年度	113	113	66	58.4%
28年度	282	181	98	54.1%
29年度	320	198	101	51.0%



5) ナースセンター運営委員会・関係団体との連携協力

- ナースセンター運営委員会の充実
県、労働局、ハローワークなど14名の構成により年2回開催
県より委員2名（**長寿社会課課長・医療対策課課長**）
オブザーバー（4名）計6名参加
- 福祉の仕事マッチングサポートセンター（福サポ）との連携
- 関係団体、関係機関の協力
看護学校養成所代表者会議や福祉人材確保対策委員会
- 人材情報センター（県の再就業支援研修事業企画元）

6) ナースセンターの広報

- ナースセンターのロゴ作成 (H27年)
- 各種リーフレット作成
- ナースセンターPRのグッズ作成
(クリアファイル、封筒、タッチペン、紙袋)
- ナースセンター情報誌を年3回発行
- ホームページリニューアル (H28.4)
- ナースセンターのぼり旗、タペストリー作成 (H27年)
- デジタルサイネージ購入によるテロップ広報 (H28年)



●ホームページリニューアル(H28.4) 施設登録方法の説明画面

施設が届出をする場合



施設代行登録の場合



用紙で提出の場合



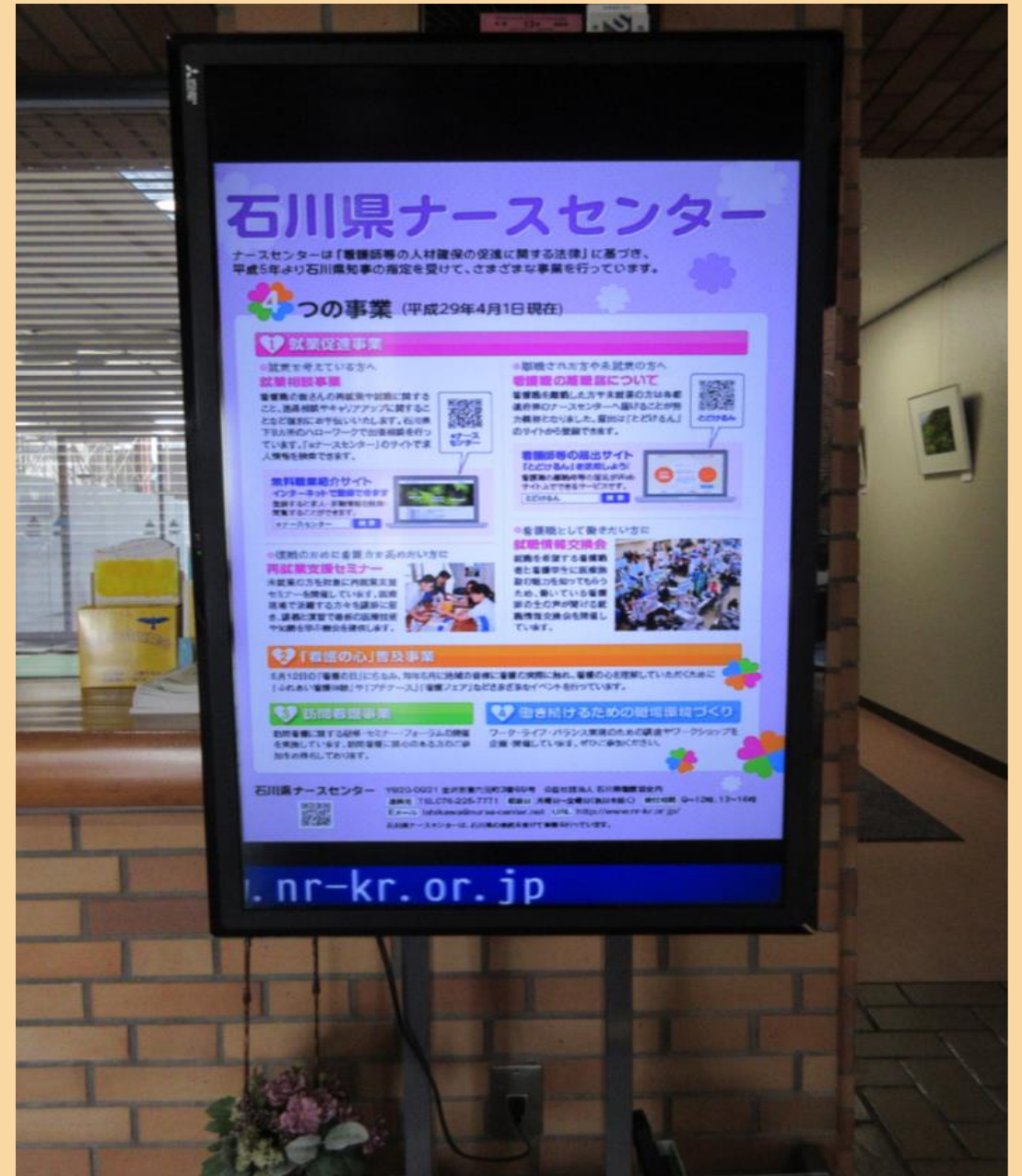
用紙のダウンロードはこちらから
石川県ナースセンター

石川県ナースセンターは、石川県の委託を受けて事業を行っています
〒920-0031 金沢市善六元町3番0号

●デジタルサイネージ購入によるテロップ広報(H28年)

- ・40型の画面サイズ
- ・各種チラシ
- ・各種研修案内

協会玄関に設置し
常時流しています



7) 成果につながった要因

- 県行政の各種支援と連携
- その他の関係機関との連携
- 広報と周知

3. 今後の課題

- 届出制度の継続的なPRと周知の徹底
- 医療機関・関係機関との連携強化
- 求職者の就業先開拓のための施設訪問
(県との連携)
- 相談員の資質の向上